

『安房地域における医療的ケア児受け入れに必要な体制整備の支援、及び関係機関との連携におけるネットワークの充実について』  
～「安房地区医療的ケア児ネットワーク連絡会」を通して～



県立安房特別支援学校教頭 すずき 鈴木 てるこ 照子

### 1 本校の研究について

本校は、千葉県教育委員会研究指定校の指定を受け、昨年度より本研究に取り組んでいる。令和3年9月に施行された「医療的ケア児及びその家族に対する支援に関する法律」を踏まえた小中高等学校等の医療的ケア児受け入れに必要な体制整備の支援、及び関係機関との連携における地区別ネットワークの充実について実践研究に取り組んだ。

### 2 特別支援学校のセンター的機能の活用

安房地域は医療的ケア児の受け入れが少ない現状がある。まずは現状を把握するための聞き取り、市町教育委員会（館山市、鴨川市、南房総市、鋸南町）や小中高等学校等にアンケートを実施した。また、A市の事例について話し合い、より良い支援について助言した。そして、「県立学校における医療的ケアガイドライン」や本校の「医療的ケア実施マニュアル」等の情報を提供したり、A市の看護師や教職員が本校の医療的ケアの実際や緊急対応訓練を参観したりした。

### 3 安房地区医療的ケア児ネットワーク連絡会を通して

安房地域の現状やアンケートの結果から、医療的ケア児受け入れに必要な体制整備と関係機関との連携が喫緊の課題であることが分かった。そのため、安房地域の現状を共有し、関係機関とのネットワークづくりの一步とするために、昨年度から本連絡会を実施し、安房地区の市町教育委員会、行政の障害福祉や子育て支援担当、中核地域生活支援センター、

相談支援専門員等20名以上が参加した。

昨年度は本校の取組の紹介と医療的ケア指導医のコメントをお伝えし、相談支援専門員から「安房地区の医療的ケア児の現状」について、そしてA市市民福祉部の方からは市の取組について情報提供をいただいた。

今年度は、市原市教育委員会教育センターの指導主事から「先進的な地域に学ぶ医療的ケアの取組」についてと、相談支援専門員から「てとて相談室からみた安房地域の医療的ケア体制の現状」について講話をいただいた。そして、参加者での情報交換を行い、全体で課題を共有することができた。

参加者からは、「先進的な市原市の取組を具体的に伺うことができて良かった。」「安房地域の医療的ケアの実情が分かった。まずは知ることが大事。」「教育委員会と福祉等の、他部局との連携や情報共有ができたことが良かった。」「まずは自市での他課との共有の場が不足していることが課題。」「この連絡会をこれからも続けてほしい。」などと、多くの声をいただいた。

本連絡会を通して、安房地区の医療的ケアの現状についての情報共有を図ることができ、関係機関のネットワークがつながるためのスタートを切ることができた。特に各市町の担当者が、自分には何ができるかを考え、庁舎内で他課との横のつながりを始めたいと前向きに捉えていた姿が印象的であった。

今後も、本校は地域のセンター的役割を果たせるよう、子供たちの笑顔のために、関係機関の皆様と顔の見える関係を大切にしながら、使命感をもって取り組んでいきたい。